

掛川出身リオパラ銀メダル獲得 山本「夢を諦めないで」

リオ・パラリンピック陸上走り幅跳び銀メダリストで、東京パラリンピックでは自己新記録で4位入賞した、掛川市出身の



山本篤(41)新日本住設が8日、袋井中で約830人の全校生徒らを対象に講演を行った。

生徒に夢を持ち、夢の実現に向かって努力することの大切さなどを学んでもらおうと同中が、パラリンピック夏冬計5度出場の地元アスリートを招いた。山本は指導者としての活動にも力を入れ、パラゴルフに取り組み始めた。5月に神戸での世界パラ陸上選手権大会、8月にパリ・パラリンピックがある来年を陸上選手として集大成の年と位置づけて臨む決意を示すことも

①講演後に生徒らと記念撮影する山本
②競技用義足を使つてのランニングを披露



に、経験を踏まえ、挑戦を続けることや英語を身につけることの重要性などを語りかけた。「脚を切断してから、前向きな姿勢が勉強になりました」と鈴木杏美さん(2年)、鈴木良明さん(3年)も「いろいろなことにチャレンジしていくことが思いました」と貴重な機会に感謝した。